福島ひまわり里親プロジェクト

ひまわり新聞 17

<TOPICS>

❶ ふくしまからの恩送り
❷ 新型コロナウイルス感染対策応援事業
❸ ひまわり・夏マスク大作戦
❹ 東日本大震災・原子力災害伝承館へ応援メッセージ受け渡し
飯舘村「道の駅までい館」にチームふくしま理念石碑を設置
❺「ひまわり甲子園」発表内容をイラスト化した本が完成
＜災害支援報告＞令和２年７月豪雨 災害支援金
❻ 2020 年 ひまわりの種寄贈先
❼ 福島ひまわり里親プロジェクトの記録
❾ 収穫したひまわりの種について

写真：田村市大越町のひまわり畑

ふくしまからの恩送り

３月、新型コロナウイルス感染症の拡大により、全国でマスクが不足していたため、チームふくしまで何かできないかと考え、マスクの製造をすることにしました。

９年前、私たち福島県民は全国のみなさんにたくさんお世話になりました。その感謝を込めて、いつか何か恩送りができないかなということを、チームふくしまのみんなが感じていたからです。

ご協力いただいたのは、女性・高齢者・障がい者雇用に力を入れている学校体育着メーカー「株式会社クラロン」（福島県福島市）です。完成した布マスクや、使い捨てマスクを医療施設や学校、東日本大震災でお世話になった全国の皆さまなどにお贈りさせていただきました。

マスクを受け取った方から、本当に多くのお手紙やメール、お電話をいただきました。そこで驚いたのは、これまでは「ふくしまがんばって」というメッセージが多かったのですが、今回届いたものは全て「ありがとう」という感謝の言葉でした。私たちの方が励まされたとともに、震災からの９年、福島を応援し関わり続けてくださった皆さまへの、感謝の気持ちを改めて感じました。

この出来事は、私たちが目指している「福島が『同情の街』から『尊敬の街』に」という想いに少し近づいたように感じる出来事でした。
これまで応援してきた福島から逆に応援されることをありがたいと感じてくださるとともに、「９年前、東北・福島のみなさんはこんな気持ちだったのか」という想いから「ありがとう」という感謝の言葉を送っていただいたように思います。

今後も未知なるウイルスの猛威、甚大な自然災害など、想像もつかないような困難が起こるかもしれません。そんな時に、東日本大震災・東京電力福島第一原子力発電所の事故後に全国から頂いた沢山の応援、そして、学ばせていただいた「お互いさま」の気持ちを忘れず、私たちのできることで恩送りを送っていきます。

新型コロナウイルスが落ち着いたら、ぜひ福島に遊びに来て頂けたら嬉しいです。皆さんと直接お会いできる日を楽しみにしています。

チームふくしま一同

新型コロナウイルス感染対策応援事業

全国のプロジェクト参加者へマスク及びひまわりの種を寄贈・発送

福島大学 様

本宮市社会福祉協議会 様

田村市教育委員会 様

福島県内で新型コロナウイルスの影響を受けた施設、企業へマスク、ひまわりの種、「なまえ詩画」を寄贈

妊婦の方へ（株）クラロン製の布マスク２枚・ひまわりの種３粒プレゼント

「ひまわり農園」（ 福島県田村市大越町 ）で栽培されたパッションフルーツを使用したゼリーを新型コロナウイルス感染者が出た田村市内のプロジェクト参加学校へ寄贈

福井県鯖江市長 牧野百男様へ使い捨てマスク等寄贈

一般社団法人福島県聴覚障害者協会会長吉田正勝様へフェイスシールド 55 枚・全国から届いたひまわりの種を 100 袋寄贈

学童、児童養護施設、運送業者、治療院、地元の町内会等へ消毒液を無料で随時発送・提供

新型コロナウイルス感染対策応援募金

4 月 14 日～ 6 月 30 日 で募った募金では、多くの皆さまのご支援、ご協力をいただきありがとうございました。合計で 165,500 円をお預かりしました。こちらは、プロジェクト参加者への使い捨てマスク及びひまわりの種の配送にかかる費用に利用させていただきました

無料公開しています

◆「たびくまくん」ぬりえ

プロジェクトのキャラクター「たびくまくん」の生みの親である、愛知県の「なかがわ創作えほん教室」様に制作いただいた塗り絵をご自由にダウンロードしてお楽しみいただけます

◆「福島ひまわり里親プロジェクト物語」コミック

出版元の（ 株 ）インフィニティ様のお申し出、ご協力により今年 3 月 6 日よりコミックを公開しています。スマホ等で気軽にご覧いただけます

◆講演会の内容

全国で行っている講演会で話すプロジェクトの概要を撮影しYouTube で公開しました

（3.11 メモリアルネットワーク基金「新型コロナウイルス緊急対策助成金」の助成により制作）

NPO 法人チームふくしま
福島ひまわり里親プロジェクト

ひまわり・夏マスク大作戦

全国の 50 万人の里親さんが育ててくださった“ひまわり”を福島県で「復興のシンボル」として咲かせることによって、雇用・教育・観光に繋げ、また、日本全国と福島の『絆』を深めるプロジェクトです。

防災教育・道徳教育として、プロジェクトが教科書に掲載。全国の学校で授業に活用されています。

売上の一部をコロナ対策の支援金として活用

福祉、医療、教育機関関係者、子供達にマスクや物資など寄贈予定。

マスクを作成し自治体へ寄贈している福祉作業所さんへの寄付

製造依頼

株式会社クラロン

福島県福島市の、女性・高齢者・障がい者雇用に力を入れている学校体育着メーカーです。第5回「日本でいちばん大切にしたい会社」大賞にて「厚生労働大臣賞」に選出されました。

運動着素材で通気性と速乾性、消臭効果があります！

マスク製造

包装

仕事の依頼
作業所の工賃アップに貢献

NPO 法人 和（なごみ）

封筒詰め作業

ひまわりの種３粒同封しています

福島県二本松市の障がい者通所施設です。ひまわり里親プロジェクトでは「きずなの種セット」等の商品製造を担っています。

お届けします！

©NPO 法人チームふくしま

布マスクをご注文、購入のご検討をいただきましたみなさま、ありがとうございます。
今回、布マスク（夏用／通年）の制作を依頼したのは福島市にある学校体育着メーカーの「株式会社クラロン」様。全国の里親さんから届いた種で毎年ひまわりを咲かせてくださっています。
福島県内トップの障がい者雇用率で、管理職の半分以上を女性が占めており、高齢でも働きやすい職場づくりをされている学校体育着メーカーです。
こんな素敵な会社が福島県にあることが誇りです。

クラロン製マスク販売中

＜夏用布マスク　680 円＞
通気性と速乾性、消臭効果のある運動着の素材を組み合わせたマスク
◆大サイズ：縦 14cm、横 10cm
◆小サイズ：縦 12.5cm、横 9cm

＜布マスク（通年）　980 円＞ リニューアル
速乾性に優れている素材を使用し、使い心地がより良くなりました
◆大サイズ：縦 14cm　横 10cm

※お子様には夏用マスク小サイズがオススメです
※サイズは２つ折りした状態です（2020.10.01 現在）
※品質改善のためにサイズ、仕様が予告なく変更になる場合がございます。ご了承下さい

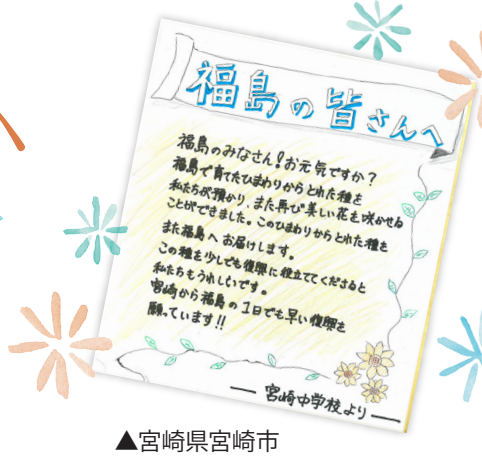
マスクは福島ひまわり里親プロジェクトの Web よりご購入いただけます

東日本大震災・原子力災害伝承館へ応援メッセージの受け渡し

一部立ち入りが許可された双葉郡双葉町に、今年9月20日に「東日本大震災・原子力災害伝承館」が開館しました。ここは、地震・津波・原発事故の記録や教訓を後世に伝えていくために県が建てた施設です。

開館前の8月7日（金）、チームふくしまでは2019年度に全国の里親さんから届いた173件分の応援メッセージ等を震災関連の資料として受け渡してきました。
これらの応援メッセージは県で保管され、みなさまからのメッセージは震災のことを後世へ伝承伝達のために活用されます。

たくさんのあたたかいメッセージをありがとうございました。



▲宮崎県宮崎市
宮崎市立宮崎中学校 様より

◀愛知県豊橋市
南部保育事業会 様より

▲東京都新宿区　NTT東日本 デジタル革新本部 様より

飯舘村「道の駅までい館」にチームふくしま理念石碑を設置

福島県飯舘村主催で行われている「飯舘村”座右の銘”選定プロジェクト」に、チームふくしまの理念である「For you For　Japan」と、ひまわり結婚式などでお世話になっている牧野ひまわり会　会長の佐久間辰一様の座右の銘「人は人の為に生きてこそ人である」を応募させていただいたところ、見事選定され、2020年8月7日(金)に応募した2つの言葉が刻まれた石碑の披露式が、飯舘村道の駅までい館で開催されました。

飯舘村は、2011年3月11日の「東日本大震災」で震度6弱の揺れに襲われましたが、他の地域に比べ、その被害はわずかなものでした。ところが東京電力・福島第一原発の事故の影響により、村は深刻な事態に見舞われてしまいます。高濃度の放射能に汚染され、村全域が計画的避難区域に指定されました。その後、その指定は、避難指示解除準備区域、居住制限区域、帰還困難区域の3つの区分に再編され、住民の全村避難という状況にまでなりましたが、2017年3月31日に避難指示解除準備区域、居住制限区域は解除されました。

今回の「飯舘村”座右の銘”選定プロジェクト」は、「他とは一味違ったユニークな取り組みが必要。村特産の御影石をＰＲすることにもなる」として全国から公募され、選定された言葉を村内の石材業者が石碑に加工されています。

ぜひ、福島県・飯舘村へお越しになられる際は、ぜひ立ち寄っていただき、ご覧いただけたら嬉しいです。

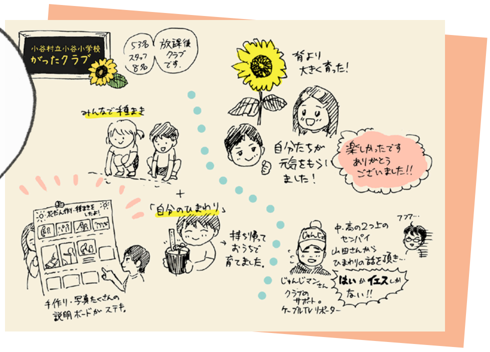
「ひまわり甲子園」発表内容をイラスト化した本が完成

2013年3月から開催している東日本大震災があったから”こそ”生まれた物語を発表する「ひまわり甲子園」。これまで、地方大会、全国大会と沢山の方々に発表していただきました。今回、その発表内容(2013年3月～2019年3月まで)を「グラフィックレコーディング」という手法を用いてイラスト化し、1冊の本にまとめました。

8月20日、完成した「ひまわり甲子園BOOK」を福島県立図書館へ86冊寄贈し、イラストを制作いただいた五ノ井愛さんから齋野和則館長へ手渡ししました。寄贈した冊子は、福島県立図書館から福島県内84ヶ所の市町村立図書館や公民館等に届けられます。

この本は、3.11メモリアルネットワーク基金「新型コロナウイルス緊急対策助成金」の助成により制作しました

「グラフィックレコーディング」とは、ミーティングや講演、対話の内容を、文字とイラストを使って記録する方法のことです



「福島ひまわり里親プロジェクト Web資料館」から、全てのイラストが閲覧できます

▶https://mu.sunflower-fukushima.com/紹介をみる/イベント/　ひまわり甲子園(全国大会)/18932.html

<災害支援報告>令和2年7月豪雨災害支援金

2020年7月3日からの大雨により、九州南部を中心に甚大な被害が生じました。さらに、7月8日には岐阜県や長野県でも記録的な大雨となり、全国各地で災害が発生しました。被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。また、お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りいたします。

今回、被害に合われたの里親の皆さまのお力になりたいと考え、「福島ひまわり里親プロジェクト」を通じて7月9日～8月31日まで支援金を募集させていただいたところ、合計**269,193円**を皆さまよりお預かりいたしました。

こちらは、災害地域(福岡、佐賀、熊本、長崎、大分、鹿児島、長野、岐阜)在住の里親さん(511件)へタオルやマスク、クラロン様から寄贈いただいたTシャツ・トレパン・ハーフパンツの発送費のほか、チームふくしま理事の従業員でご実家が被災された方への寄付とさせていただきました。皆さまからのあたたかいご支援に心から感謝申し上げます。

この度、令和2年7月末に発生した山形豪雨に際し、多額の義援金を頂き、心よりお礼申し上げます。頂きました義援金は、実家の修繕費として使わせて頂きます。

私は、地元の山形を離れ、言語聴覚士の資格を取得するために郡山の専門学校に通っています。山形豪雨の当日は、臨床実習のため山形に帰省していました。その日の実習が終わり、車に乗った時、母から「家が浸水したから、親戚の家に避難する」と連絡がありました。母が言っていることが信じられず、浸水といってもたいしたことないだろう…と思いながら親戚の家に向かいました。親戚の家に向かう際中、川の水が溢れ、道路が川のようになっていました。親戚の家につき、父が「腰あたりまで水があがって」と濡れたズボンをみてもまだ信じられませんでした。その日は、なかなか雨が止まず、とても不安な夜を過ごしました。朝になり、実家に向いました。家の中は、泥で汚れ、冷蔵庫や洗濯機などが倒れていました。これが自分の家なの!?と驚いたのを覚えています。片付けをしていると、中学生2人が来て、「今日学校が休みだから何か手伝わせて。おんちゃんには安くおもちゃ買わせてもらったから。」と言い黙々と働く姿に感動しました。帰り際には、「今年もお祭りでお店出すよね。」と言っていました。最初は、「今年は厳しいよね。」と言っていた父でしたが少しずつ「今年も出すから来てね。」と言っている姿を見てすごく嬉しかったです。お祭り当日は、沢山の方々に来て頂き、楽しそうに働く父の姿がとても良かったです。私自身、山形豪雨から数日間は、こんな状況だし夢を諦めるしかないだろうな…と思っていました。しかし、夢成の鈴木社長をはじめ、半田様、近所の方々、この度寄付してくださった皆様、沢山の方々に支えて頂き、助けて頂き、「負けるな」「頑張れ」の言葉をかけて頂き、このまま夢を諦めたくないと強く思うようになりました。患者様・ご家族一人ひとりに寄り添い、心の声にも耳を傾ける事のできる言語聴覚士になる夢を叶えることが皆様への恩返しになると思っています。国家試験合格を目指し、勉学に励んでいきたいと思います。

末筆ながら、半田様をはじめ福島ひまわり里親プロジェクトの皆様のますますのご健勝を心からお祈り申し上げ、御礼の言葉とさせて頂きます。

令和2年9月26日

▲ご実家の被害状況、寄付金をお渡しさせていただいた様子及び届いたお礼状

◀熊本県へ寄贈いただいたクラロン製ジャージをお届け

2020年 ひまわりの種寄贈先

浜通り

相馬市　相馬市役所

南相馬市
（株）原町サイン
（株）相馬牧場
小高区ふるさと農地復興組合

いわき市
いわき市立小名浜第一小学校

浪江町
浪江町役場
いこいの村なみえ

富岡町
富岡町立富岡第一・第二小学校 富岡校
富岡町役場

楢葉町　楢葉町役場

広野町　有限会社アド・プロ広芸社

葛尾村　葛尾村役場

川内村
川内村役場
認定こども園　かわうち保育園

中通り

福島市
福島民報社
ひばり音楽幼稚園
NPO 法人福島住宅学校
太田町婦人部
クリーニング北沢
中国料理　天辺

福島県青少年会館

あおば薬局
（株）いわき
福島わかくさ幼稚園
（一社）福島県聴覚障害者協会
あづま総合運動公園
（株）f's ぽけっと
整体院縁
月電工業（株）

NTT 東日本―東北　福島支店
福島県立視覚支援学校
放課後等デイサービス　むすび
共に生きるクロ～バ～

二本松市
NPO 法人 和
二本松市役所　岩代支所
二本松郵便局

郡山市
福島スバル自動車（株）
ヒューマニティー幼保学園
（株）柏屋

伊達市　（株）ナプロアース

須賀川市
農家の店　アックス須賀川店
須賀川信用金庫

本宮市　本宮社会福祉協議会

田村市
田村市役所
田村市教育委員会
牧野ひまわり会

白河市
白河市立大屋小学校
白河市立五箇中学校

川俣町
川俣町役場
日本ピストンリング（株）
品質保証部 ISO 推進グループ

天栄村　天栄村役場　湯本支所

中島村　富士工業（株）白河事業所

会津

会津坂下町
会津坂下町立坂下東小学校

猪苗代町　猪苗代ハーブ園

金山町
金山町立金山中学校
金山町役場

南会津町
なかあらい大地を育む会
（株）みなみあいづ

※掲載は一部です（敬称略）

福島ひまわり里親プロジェクトの記録

（2020年1月～2020年8月）

全国各地でプロジェクトの活動を取り上げていただきました。ありがとうございます。

福島民報社×東邦銀行 ラジオ福島 JT チームふくしま
ふくしま59未来プロジェクト SDGs×おもてなし
清掃で美しい古里に
家庭や職場など 県民参加呼び掛け
21、22日
ヒマワリの種 無料提供
参加者を本紙特集に掲載

2020年3月18日
福島民報（福島県）

NPOにヒマワリの種
イオンタウンとイオンユニオン

2020年1月31日
福島民報（福島県）

福島思い ヒマワリ栽培
鶴岡「みんなのそら」活動発表、種贈る
震災復興へ「笑顔の循環」

2020年1月31日 山形新聞（山形県）

2つの震災つなぐ ヒマワリ咲く
阪神淡路大震災の日に
市里山交流研修センターで
福島の復興支援が縁の種

2020年1月22日
あやべ市民新聞（京都府）

カンボジアから復興の歌
鯖江の児童作詞「ひまわり」
現地で岩堀先生紹介
動画サイトで公開

2020年3月10日 日刊県民福井（福井県）

ヒマワリの種 福島の力に
バス燃料に活用プロジェクト
NPO法人の山田さん 浜松・伊目小で講演

2020年2月20日 中日新聞（静岡県）

ヒマワリ育む絆 胸に聖火つなぐ
広島出身・福島の走者 半田さん
育てた種で全国と交流「元気見せる」来年心待ちに

2020年3月27日 読売新聞 広島版（広島県）

エール 花に託す
「福島に種届ける」
ヒマワリの苗植え
安城学園高生、デンバーク

2020年6月5日 中日新聞 西三河版（愛知県）

「復興の象徴」種まき
長野の台風被災地

2020年5月4日 信濃毎日新聞（長野県）

負けない
新型コロナ
福島から恩返しのマスク
宇治 のぞみ鍼灸整骨院に2600枚届く
震災支援で絆「施術欠かせず救われた」

2020年4月23日 京都新聞 山城版（京都府）

福島へ思い ヒマワリに
「里親プロジェクト」参加メンバーら
宇治 苗の植え付け活動

2020年6月7日
京都新聞 山城版（京都府）

2020 年 8 月 8 日
タウンニュース
小田原・箱根・湯河原・真鶴版
（神奈川県）

2020 年 7 月 19 日
福島民報（福島県）

2020 年 6 月 20 日
大分合同新聞（大分県）

2020 年 8 月 12 日
大分合同新聞（大分県）

2020 年 8 月 5 日
京都新聞 山城版
（京都府）

2020 年 8 月 8 日　福島民友（福島県）

テレビ放映

【左】4 月 23 日　NHK 福島放送局
「はまなかあいづ TODAY」

【右】5 月 9 日　テレビ朝日
「サタデーステーション」

書籍掲載

新版 授業づくりの教科書 理科実験の教科書 3 年

編著：宮内主斗・平松大樹

© 酒井啓喜「福島の復興の手助けをするヒマワリ栽培」宮内主斗・平松大樹編著
『[新版] 理科実験の教科書 3 年』さくら社　2020 年
pp.32-33

小学校の先生向けの書籍に、当プロジェクトのひまわりの種を用いた授業づくりを紹介いただきました。このページを執筆されたのは、長野県の里親さんで長野県公立小学校教諭の酒井啓喜先生です。酒井先生は 2018 年 3 月に開催した、「ひまわり甲子園 2018 全国大会」で教育部門代表として取組みを発表してくださいました。

復興への道をひらく
著：小林 知加子（PHP 出版）

東日本大震災から立ち上がり、前を向いて歩き始めた人たちを紹介している本です。2017 年 8 月に「月間 PHP」に掲載された「ひまわりを福島の復興のシンボルに」が、今回書籍にも掲載されました。

収穫したひまわりの種について

福島ひまわり里親プロジェクトへのご参加・ご協力に心より感謝申し上げます

全国の里親のみなさまへ

福島ひまわり里親プロジェクトより購入したひまわりの種を蒔き、咲いたひまわりからとれた種をお送りください。翌年、福島県内の学校教育機関や観光地、地域などに寄贈し、『復興のシンボル』としてあなたのひまわりが福島で咲き誇ります。

福島県のみなさまへ

全国の里親さんから届いたひまわりの種を蒔いて、咲いたひまわりからとれた種は、「福島ひまわり里親プロジェクト事務局」までお送りください。福島県内で採れた種はひまわり油を絞り、福島交通の路線バスのバイオディーゼル燃料として活用しています。

収穫した種の送り先

<種の受付期間>
10月～2月末日迄

十分に乾燥し終わった種だけを、封筒等に入れて切手を貼って送ってください。
（福島ひまわり里親プロジェクトのひまわりから採れた種のみ）

全国で採れた種

〒969-1403
福島県二本松市渋川字大森越122
特定非営利活動法人　和　（なごみ）
福島ひまわり里親プロジェクト事務局
TEL：0243-23-4551

福島県内で採れた種

〒960-8055
福島県福島市野田町6-7-8
ツインコートB103
福島ひまわり里親プロジェクト事務局
TEL：024-563-7472

種を送る際のポイント

★よく乾燥させる

手で種の部分をちょっと触ってみると、種がぼろぼろと落ちてくる感じがベスト。十分に乾燥できていないと取りづらいです。鳥が来て、種を食べてしまうようなときには、花の部分を切り取って、風通しの良い場所で1～2週間乾燥させるのがいいでしょう。

★花から種だけをとる

花の状態で送ると、カビが生え、種が使えなくなってしまいます。
花から種を取るときは、魚を焼くときに使う網などを用意し、上から種の部分をこするようにすると種が取れます。

ひまわりに関するお問合せ

（ひまわりの育て方や種の取り方など）

専用ダイヤル：080-1690-0711

担当：藤島 康広

メディアお問合せ、種の寄贈、各種イベント、賛助会員、グッズ販売などお気軽にお問い合わせください。そのほか、各地での活動報告や、ひまわり新聞をご覧になった感想などもお待ちしております!

NPO法人チームふくしま
福島ひまわり里親プロジェクト

〒960-8055　福島県福島市野田町6-7-8ツインコートB103
福島ひまわり里親プロジェクト事務局
TEL：024-563-7472 ／ FAX：024-529-5794
MAIL：info@sunflower-fukushima.com
HP：https://www.sunflower-fukushima.com/
ブログ https://ameblo.jp/sunflower-fukushima/
https://www.facebook.com/himawarisp/
https://www.instagram.com/himawari_tabikuma/
https://twitter.com/sunflower_fuku

福島ひまわり里親プロジェクトの活動は
#福島ひまわり里親プロジェクト のタグをつけて投稿してください☆

編集後記

「ひまわり新聞17号」をお読みいただきまして、ありがとうございます。
来年3月6日(土)は、延期しておりました「ひまわり甲子園全国大会」の開催予定日です。新型コロナウイルスの感染拡大が一日も早く落ち着くことを願い、福島で皆様とお会いできることを楽しみにしております。（清野）